

1. 本園の教育目標

- ・あいさつや返事がきちんとと言える子に
- ・きまりややくそくが守れる子に
- ・おもいやりの心と人に親切にできる子に
- ・感じ感動する豊かな心の子に
- ・自分で考え実現できる子に

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本年度は、本園のモットーである「大切な時だから、一人ひとりが大切だから。」をより深め、教育・保育の質の向上を図ることを目標とした。子どもたちの健やかな成長を支えるため、以下の内容を重点項目として取り組んだ。

①運動あそびの充実

日々の運動あそびを通して、基礎的な体力や運動能力の向上を目指した。戸外遊びやサーキット活動などを取り入れ、発達段階に応じて楽しみながら体を動かす経験を積み重ねた。

②英会話活動の推進

英語に親しむ機会を増やし、歌やゲーム、簡単な会話を取り入れながら、英語への興味・関心を育てた。外国語に自然に触れる中で、表現する楽しさやコミュニケーションへの意欲を高めた。

③食育活動の充実

野菜の栽培や収穫、クッキング活動などを通して、食への関心を深める取り組みを行った。食材に触れる体験を重ねることで、食べ物への感謝や健康への意識を育んだ。

④花や植物の栽培活動

園内で花や植物を育てる活動を取り入れ、自然に触れる機会を大切にした。水やりや観察を通して、命の大切さや季節の変化に気づき、思いやりの気持ちや責任感を養った。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	取り組み状況
カリキュラムを見直し改善を図る	A	<ul style="list-style-type: none"> ・イギリス人のネイティブスピーカーを英語講師として招き、英語レッスンを実施する。 ・身体を動かしながら楽しく英語を学ぶことで、恥ずかしがりやさんでも堂々とした振る舞いを身につける。 ・健康運動実践指導者資格を有する講師により園児たちに楽しみながら身体の使い方、動かし方等運動の動作を身につけさせる。 ・体育指導を通して身体の柔軟性、筋力、瞬発力等を養い、体力向上や怪我の防止につなげる。

教育の質向上のために、園内研修を充実させる	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとに園内保育技術研究会を実施。抽出されたクラスの保育活動（リトミックや器楽等の音楽指導等）を全教員で参観し、良かった点や、改善点等を話し合い、保育技術向上に役立てる。
保育の計画性	B	<ul style="list-style-type: none"> ・園の教育方針、教育目標、年間目標に基づき教育課程を編成し、年度始めに職員会議にて共通理解を行う。 ・職員会議を週に1回、主任会議、学年会議を適宜行い、教育計画を実践する。
保育のあり方、子どもへの対応	A	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの発達、特性を職員会議で報告、情報共有し、全教員が共通理解の上、子どもの実態に合わせた保育、援助を行う。 ・芝生園庭や園庭に整備したビオトープ、ちびっこ農園を活用し、思いきり走り、飛び、更には様々な動植物に触れ心身ともに限りない成長をめざす。 ・教職員相互にこまめな報連相、連携し、子ども一人ひとりの幼児理解に努め、チーム保育を遂行することで同僚性を育む。
保護者への対応	A	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援の必要な子どもに関しては発達センターや保護者と連携し、情報を共有し、日々の保育に役立てる。 ・園の様子を園だより（週だより、月だより）やHP、インスタグラムで定期的に発信する。また担任との連絡帳での対応の他、5月の個人面談や保護者の希望により常時面談や保育を見学する機会を設け理解と関わりを深める。
地域や社会との関わり	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の幼保小連絡会にて連携を行い、小学校就学に向けた情報交換や小学校への参観会を行う。 ・自己啓発の小冊子を用いた朝礼で教職員自らの考えや理想、目標を発表し合い、自己実現や人間性の向上に役立てる。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	<p>本年度は、重点項目について教職員全体で共通理解を持ちながら取り組みを進め、一定の成果を上げることができた。一方で、活動内容の深まりや実践の質については、今後さらに工夫や改善が必要であると感じている。</p> <p>日々の保育を振り返る中で見えてきた課題や改善点については、教職員間で共有し、より良い実践につなげていく必要がある。子どもたち一人ひとりの可能性をより豊かに伸ばしていくためにも、園全体で学び合いながら保育の質を高めていきたい。</p> <p>今後も教職員が協力し合い、試行錯誤を重ねながら、より充実した教育・保育の実現に向けて努力していく。</p>

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
活動の「ねらい」と「評価」の明確化	各活動の目的や育てたい姿を教職員間で共有し、振り返りや評価を丁寧に行うことで、次の実践へつなげていく。
教職員間の連携と保育の質の均一化	保育者による対応の差を少なくするため、定期的な情報交換や実践共有を行い、園全体として一貫性のある保育を目指す。
記録・観察の充実と活用	子どもの成長や変化を丁寧に記録し、保育改善や保護者との信頼関係づくりに活かしていく。
保護者との連携のさらなる強化	園での子どもの様子や活動の意図をわかりやすく伝え、家庭との相互理解を深めながら、共に子どもの育ちを支えていく。
活動の質の深化（英会話・運動・食育・栽培など）	英会話、運動、食育、栽培活動などについて、遊びや生活と自然につながるよう内容を工夫し、より主体的に取り組める活動へ発展させていく。
子ども主体の活動への取り組み	保育者主導の良さを大切にしながらも、子ども自身が考えたり選択したりする場面を増やし、自主性や主体性を育てていく。
安全管理	大型遊具使用時の見守り体制を強化し、安全な遊び方の指導や事故防止に努める。また、緊急時には迅速かつ正確な情報共有を徹底する。

6. 学校関係者評価委員会の評価

園では、運動あそびや英会話、食育、栽培活動など、子どもたちの成長につながる様々な取り組みを年々充実させてくださっており、保護者として大変ありがたく感じています。おたよりやInstagram、また家庭で子どもたちが嬉しそうに話してくれる姿からも、園生活が充実していることがよく伝わってきます。子どもたちが多くの経験を通して自信をつけ、いきいきと成長していることを嬉しく思っています。

特に、子どもが主体的・能動的に活動できるよう、園内で保育技術研究会を行いながら日々保育の工夫を重ねてくださっていることに感謝しています。先生方の声かけや関わり方にも様々な工夫が感じられ、「やってみたい」「挑戦してみたい」という気持ちを大切にくださっていることがよく伝わってきます。そのような環境の中で、子どもたちが自分から進んで活動に取り組み、いきいきと過ごしている姿を高く評価しています。

また、英語活動では、ネイティブ講師の先生と楽しく関わりながら、子どもたちが自然と英語に親しんでいる様子を感じられます。家庭でも英語の歌を口ずさんだり、「今日はこんなことをやったよ」と楽しそうに話してくれることが増え、興味や関心が広がっていることを実感しています。幼児期から外国語に触れる貴重な機会を作っていただいていることに感謝しています。

さらに、体操指導では、元気に返事をしたり、積極的に身体を動かそうとする姿が見られるようになり、心も身体もたくましく成長していることを感じます。以前よりも「やってみよう」という気持ちが育っているように思われ、園での丁寧なご指導のおかげだと感じています。

日々、子ども一人ひとりに寄り添いながら様々な経験を積ませてくださっている先生方に、心より感謝しております。これからも子どもたちが楽しく学び、健やかに成長できるような取り組みを続けていただけることを期待しています。園と家庭が協力しながら、子どもたちの成長を見守っていけることを嬉しく思います。